

金山伝言板

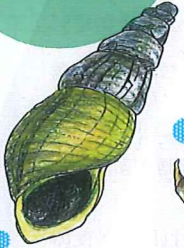
第136号
 発行 金山総合公園
 編集 園長 三田芳夫
 太田市長手町480
 TEL 22-1448
[http://gunma-](http://gunma-kodomonokuni.jp)
kodomonokuni.jp


ぐんまこどもの国 生き物ファイル①

水辺の生き物

カワナナ

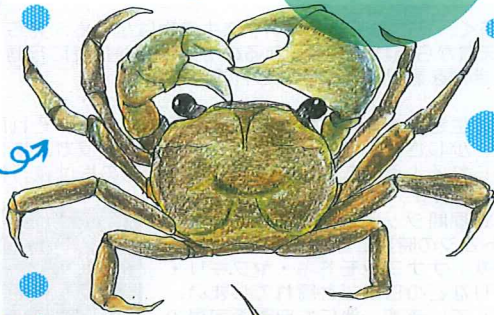
ホテルの好物。貝殻を作るカルシウム分が豊富なコンクリートの側溝で多く見られる。



日の当たる場所のカワナナと、日陰のカワナナで色が違ったりするよ!

サワガニ

地域によって青っぽい色、赤っぽい色など様々だが、地域によって違いがあるらしい。



カニの世界も人間と同じくお利きが多いのでは?という話があったり、なかったり…!

こどもの国の水辺といえば子供達が良く遊ぶ「じゃぶじゃぶ池」を思い浮かべる方も多いと思います。

「じゃぶじゃぶ池の他に水辺ってどこにあるの?」そんな方もいるかもしれませんが。

実はこどもの国の中には多くの水辺が存在します。

実際に子供が立ち入れる水辺はじゃぶじゃぶ池のみですが、《下池・上池・ひょうたん池・湿性植物園・ダイナミック広場脇の沢・山際道路脇の沢・ふれあい遊歩道脇の沢》と、いくつかの水辺があります。

それらの水辺には沢山の生き物が生息しているのを知っていますか?今回は水辺に棲む生き物のことを少しご紹介していきたいと思います。

アメリカザリガニ

アメリカ原産。食べるエサによって体の色が変わるよ!青魚を食べると青くなるらしい!?



ザリガニ釣りではザリガニがハサミを離さない理由はエサを離すまいと思ってるから!

ヤゴ

トンボの幼虫。種類により形や大きさは変わる。鋭いアゴで小魚やおたまじやくしを食べる。



卵から産まれて成虫になるまで1か月程度の奴もいれば5年かかる奴もいる!

実際にさがしてみよう!

右の写真の生き物は全てこどもの国の中に生息しているよ!探してみてね。紹介は出来なかったけれど、カエルやカメ、アメンボなど、まだまだ沢山の生き物が生息しているよ。場所によっては、滑りやすかったり、ぬかるんでいるので、足場の悪い場所もあるので、注意をしながら探検してみてくださいね。

ダイナミック広場脇の沢

カワナナ



夜行性で雑食。昼間は岩の隙間に身を隠している。

ダイナミック広場脇の沢

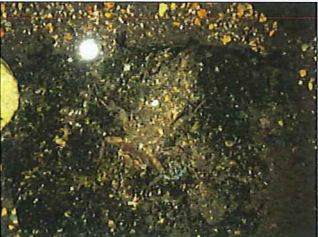
サワガニ♂



淡水生のカニ。オスは左右のはさみのサイズが違う。

ダイナミック広場脇の沢

オニヤンマのヤゴ



体は毛で覆われており、砂や泥を身にまとい擬態する。

ひょうたん池

アメリカザリガニ ※外来種



こどもの国にいるザリガニはアメリカザリガニだけ。

ひょうたん池

ヌマエビ



透き通った体のエビ。日本全域の河川で見られる。

水辺近くの草木

ヤゴからの脱皮



水辺から出たヤゴは木や草に登りトンボ(成虫)に変態する。

「ナイトハイク事前レポート」
記事担当：羽賀

ぐんまこどもの国 里山コラム Vol.16

皆様こんにちは、梅雨に入ったものの、あまり梅雨らしくない日々が続いております。前回のコラムで、7月号はタマムシをテーマにコラムを書けたら…と告知させて頂きましたが、残念なことにタマムシはまだ時期が早いらしく見つかりませんでした。そこで今回は夏限定の人気イベント「ナイトハイク」の事前レポートをご紹介します。

今年の夏も、こどもの国ではナイトハイクを実施します。そこで、その前に私が一人でナイトハイクをしてどんな生き物がいるか見てきました。（※但し、イベントの時期は若干ずれるので見れる生き物も多少変わります）

夜のこどもの国では昼とは違う変わった生き物と出会うことができます。いつもはいない場所にいる生き物、夜にしか見られない生き物等の姿を見ることができるのがナイトハイクの醍醐味です。

夜になると活発になる生き物は多く、特に昆虫などの小さな生き物はたくさん見られるようになります。やはり日中は鳥などの天敵から狙われやすくなるのでしょうか？夜に行動することにより、天敵に襲われにくくする生き方を選択したのかもしれない。

昼間の水辺では、子供達が懸命に生き物を探している姿をよく目にします。それに比べ夜の水辺はホタルのシーズンも終わり、少しさびしい感じがしますが、実はサワガニやオニヤンマのヤゴなどがとても簡単に見つけられるようになります。カワニナなどの貝は夜行性のため、1㎡に数百匹の単位で見ることができます。

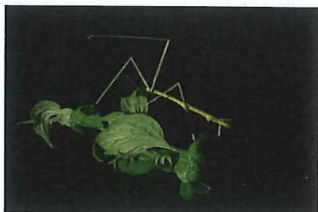
また、森の近くではナナフシなど昼間ジッと動かない生き物たちが活発に動きだします。カブトムシの時期にはまだ早いです。かわりにバッタ類が多く見られます。ナナフシモドキ・ヤブキリ・ヒメギス・コロギス・オオカマキリなどの日中だと隠れてしまい、なかなか見つからない昆虫も活動しています。他にも自動販売機の明かりに集まる虫を食べに来るアマガエルたちも見られます。

【ナイトハイクで生き物を見つけるコツ】

①振動をたてない
振動には非常に敏感で、ちょっとでも揺れを感じると大抵の生き物は姿を隠してしまいます。

②騒がない(音をたてない)
声は振動に比べると反応しずらいですが、大声を出したりすると生き物は逃げてしまいます。

昼間は葉の裏や石の下などに隠れている生き物も夜になると大きな葉の上に出てきているので見つける事は意外と容易です。また、光を当てジッと観察をするぐらいであれば、そこまで逃げません。ぜひ参考にしてみてください。



7月イベント情報

6月24日(土)～7月2日(日)

- ・七夕に願いを書こう
- ・七夕飾付け展示



7月3日(月)～7月7日(金)

- ・カブトムシプレゼント

7月下旬(22日頃予定)～8月上旬

- ・スズムシプレゼント

2日(日)

- ・森の小さな動物たち
- ・手作りスタンプ作り



8日(土)

- ・紙ヒコーキ教室



9日(日)

- ・稲作体験(除草、生き物観察)

12日、26日(水)

- ・自然観察会

16日(土)

- ・ふれあい工房見本市



17日(月)

- ・草木染
- ・夢のマジックショー

22日(土)

- ・竹で作る水鉄砲教室

23日(日)

- ・自然と遊ぼう
- ・ナイトハイク



28日(金)～30日(日)

- ・かくれにこっちゃんを探せ①



今回のテーマは「金山の植物」です。今回は講師として、栗原氏をお迎えしました。参加者は29名、更にスタッフ2名を合わせ、合計31名で行なわれました。エントランス広場を出発して、園内を一周します。季節の植物の、ドクダミ・アジサイ・ガクアジサイ・ヤブレガサ・ヤマボウシ・クズ・クチナシ・スイレンなどの植物観察をしながら、食べられる植物も採取しました。園内で食べられる植物はドクダミ・ミソソバ・タンポポの花・クサギの新芽・クワの新芽・ウドの若葉などです。昼食前には乗務員控室に戻り、採取した材料を使って天麩羅を作りました。たくさんの方の材料の中で最も好評だったのは、昨年もあるクズのツルでした。更に今年は新たにウドの若芽の天麩羅も作り、こちらも好評でした。昼食後は、ふれあい工房に移動して、こどもの国や金山で見られるキノコの特徴などの説明を聞きました。また、冬虫夏草や粘菌などの変わり種のキノコなどの紹介もあり、キノコの奥深さに驚いた様でした。



記事担当 金子



金山歴史山歩「金山の植物」

編集後記
担当：野村

7月に入ると生き物を探して虫取り網や虫カゴをもって遊びにくる子供達の姿をよく目にするようになります。「何か見つかった？」と声をかけると自慢げに虫かごを見せてくれます。ですが…！本来は観察したらキャッチ&リリースをお願いしますね。